

松友会だより

編集 松友会
新聞編集委員



プライドを捨ててみなさい
大切なことに気づくでしょう

清永 辰生

時のすぎるのが早いかわいいか、それに気づくこともないような時期に、人はとりわけ幸福なのです。人生の終わりを見定めて逆算して考えることも大切、死を考えることは生きる感覚を高めることにつながり、日々の暮らしが豊かになれば命も豊かになります。

人が生きていくうえでプライドは大切です。美術、工芸や大工さんなど職人さんの話を聞くと、「矜持(きょうじ)」「(自分を信じて誇る気持)を感じられますし、校歌に登場する「母校の誇り」「郷土の誇り」といった歌詞にしても、やはり自尊心のひとつといえるでしょう。

成績が優秀な人や仕事をバリバリこなす人の多くは、「自分の生き方、あり方」にプライドを持ち、日々の努力や精進を続けていると思います。しかしプライドが高すぎて自分は特別な存在だと勘違いしてしまいうケースもありそうです。

女性に最も嫌われるビジネスマンは、「出身大学や学歴をひけらかす人」だそうです。一流の大学を出ることは誇らしいことですが、それだけで満足してしまいい、仕事を怠ってしまうのは困りものです。せっかく希望の企業に入社したのに配属先が気に入らず、くさってしまえばドロッアウトする人もいます。

空海はこんな言葉を残しています。「聖人の所為も光を和らげ物を利す、しばらく其の塵(ちり)に同じて、其の足を濯(すす)ぐがんに若(し)かず」

聖人であっても自分の能力を隠して、俗世間の仲間入りをし、とやかく言わず塵で汚れた水で足を洗うに越したことはない」といった意味でしょう。

「人は光り輝くことばかりを誇りとせず、塵にまみれてみることも考えよう」ということで、つまらないプライドにこだわらぬように、平凡でいることも大切といったところでしょうか。

高齢者の中には現役時代の肩書を振りかざす人を見られます。町内会の用事などお願いしてみると、その経歴はまったく役に立たず、肩書のない人の方が、よほど頼れるケースもあります。プライドを振りかざしてみても、世の中はそう甘くありません。学歴や肩書き、家柄などをひけらかすより、自分が現在きちんとした仕事をしているか、それを見るべきでしょう。

暮らしの中の仏教語
「皮肉」

いやみを言ったり意地の悪い言葉を投げかける人を、「あいつは皮肉屋だ」などと言うことがあります。仏教では根本理念に対して、うわべのことを皮肉と呼びます。身体にたとえれば根本理念が骨や髄で、うわべが表皮と肉です。樹木にたとえれば根本理念が太い幹で、うわべが枝葉になります。

皮肉屋でいえば、他人のちよつとしたミスを見つけると指摘するくせに、その相手の本質を理解していないということでしょう。そうならないように気をつけたいものです。

【八月度の主たる行事のご案内】

暑い夏を迎えました。感染対策や熱中症対策を怠ることなくこの季節を乗り切りましょう。

☆月例会 八月はお休みです。

☆九月の月例会は九月九日(土)午後一時開催です。

内容はストレッチ及びパントマイムです。お楽しみに！

☆夏休み早朝ラジオ体操の開催予定

八月は二十日(日)〜二十六日(土)松が丘公園 六時三十分開始。

どなたでもお気軽にご参加ください。いつものように参加賞を用意しています。

☆八月誕生月の皆さんです。紙面にてお祝い申し上げます。

立秋子 光耕滋
山藤 山崎 以上4名
(敬称略)

地域の皆様のご協力有難うございます。今後も再生資源の回収にご協力お願い致します。

月別再生資源回収成果

令和5年6月分

新聞紙	1,220 kg
雑誌	410 kg
布類	140 kg
段ボール	340 kg
合計	2,110 kg
回収奨励金 (@ 円)	円

ご協力ありがとうございました。

【伝言板】

☆再生資源回収
八月十日(木) 宝塚 川西地区
八月二十二日(火) 川西地区
皆さん、いつもご協力をいただき有難うございます。

引き続きよろしくお願い致します。

☆地藏盆及び夏祭りの開催

八月十九日(土)

詳細は各自自治会の回覧等で確認して下さい。

多数の皆様のご参加をお願い致します。

☆松友会の新規会員様のご紹介

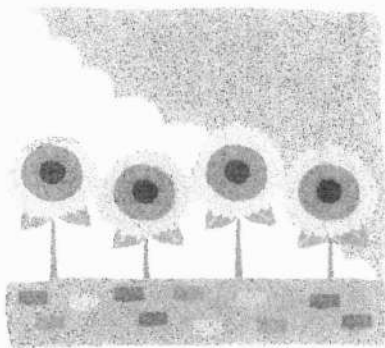
山崎耕滋(川西側)です。

よろしくお願いたします。

8月 行事予定

(予定表は変更される場合があります)

日	曜	行事	時間
1	火	健康体操	10:00~11:30
5	土	カラオケ	13:00~16:00
8	火	健康体操	10:00~11:30
10	木	再生資源回収(宝塚・川西)	~8:30
15	火	健康体操	10:00~11:30
19	土	地藏盆及び夏祭り	15:30~
20~26		ラジオ体操	6:30~
22	火	再生資源回収(川西)	~11:00頃
26	土	編集会議	10:30~11:30



平城宮跡歴史公園ウォーキング
覚正 健嗣

令和5年4月9日(日)午前10時に近鉄大和西大寺駅改札口付近にハイキングの仲間18名の方が集合し、平城宮跡資料館に向けて出発しました。歩くこと約10分で到着しました。

平城宮跡資料館は平成22年にリニューアルオープンしました。発掘された土器・瓦・木器等が多数展示され、ボランティアガイドさんがわかりやすく説明してくださいました。

資料館見学後は平城宮跡の要所といわれる第一次大極殿(だいくでん)に向かいました。大極殿は天皇の即位や元日の式典など、特別な儀式だけに使われた平城宮の中心建造物を復原しています。又、令和天皇の即位式で有名になった天皇の玉座高御座(たかみくら)が復原され間近で見学することができました。

次は発掘調査で見つかった奈良時代の役所の建物跡である遺構を、発見当時の状態で保存・展示されている遺構展示館に向かいました。遺構展示館では建物の柱、井戸の跡等が地中からの発掘状態のまま保存され展示されています。展示館見学後は付近の広場で昼食を摂りました。周囲は青々とした芝生が広がり、たんぽぽの花が咲き誇っていました。

その後は東院庭園跡に向かいました。東院庭園は平城宮跡の東端に位置し、日本庭園の出発点とされる庭園で、天皇や貴族が宴会などを行なった建物や庭園が復原されています。

そしてゴールの朱雀門(すざくもん)へと向かいました。間口25m、高さ22mの規模といわれる堂々とした門です。その後遣唐使の派遣に使われた船の復原模型を見学し、朱雀門ひろばで解散しました。

最後になりましたが、平成22年6月13日(日)雨の中、平城遷都1300年祭で妻の姉2人と一緒に平城宮跡を訪れたことをなつかしく思い出しました。



第一次大極殿



朱雀門

撮影：覚正健嗣

ゴルフの歴史ほか

和泉 清

このスポーツの発生地には三説があった。スコットランド説、オランダ説、ローマ説とあり、いずれも確証は無いものの、一般的にはスコットランド説が優勢である。暇をもてあます羊飼いたちが、棒切れで石ころを転がして、ウサギの巣穴に入れて遊んだのが始まりとされる。そのうち、国民が働かなくなるほど人気のスポーツとなったので、国王ジェームス2世が1457年にゴルフ禁止令を出したそうである。

日本では、1895年(明治28年)神戸の貿易商マッグルが六甲山上に4ホールのコースを作ったのが最初である。ジャパンプは1926年に、ジャパンオープンが1927年に開催された。

戦前は、いわゆる資産家や名門家庭のエリートスポーツに過ぎなかったが、戦後1953年に、霞が関コースでカナダ杯ゴルフ(現在のワールドカップ)が開催され、中村寅吉、小野光一の日本ペアが団体で、中村が個人で優勝したのが契機となって、第一次ゴルフブームが起り、大衆スポーツに発展していった。下って1970年代、いわゆるAMNの青木一功、尾崎将司、中島常幸らの活躍で第二次ブームが起こった。

最近の日本選手の活躍を見ると、渋野日向子の2019年の全英オープン優勝は、1977年の樋口久子の全米オープン優勝以来42年ぶりの日本人女子二人目のメジャータイトルであり、2021年の笹生優花の全米オープン優勝は同三人目である。そうして松山英樹の2023年マスターズ優勝は、待望の男子初のメジャー獲得であった。なお、岡本綾子は、2023年、アメリカツアーで年間4勝し、その年の賞金女王に輝いた。

現在、全国のゴルフ場数は2320余りで、1位北海道160、2位兵庫県155、3位千葉県150、4位栃木県130、5位茨城県120となっている。最近の情報では、コロナ禍以後、感染リスクが少ないスポーツとして利用者が増えているとされている。

ゴルフ競技の主なルールは次の四つで、①エチケットを守る。②プレー中のボールは原則としてホールアウトするまで触らない。③ルール違反は罰打か失格。④審判のつかない協議なので、プレーヤーが相互に判定するなどである。

通常、18ホールを一ラウンドとして競技の区切りとするが、勝敗の決め方には、打数とマッチプレーの2種がある。前者は、ホールごとに要した打数のトータルが少ないほどよく、後者はホールごとに打数の少ない方を勝ちとし、勝ったホール数の多寡で勝敗を決める。

ただし、仲間同志のコンペでは、ハンディキャップをつけて争う場合が多い。ハンディキャップとは、実力の差を埋め、スコアを平均化するため、一ラウンドの実打数から差し引く数をいう。これが少ない人ほど上手とされている。

うますたゆます
黒田 千代子

「三歩すすんで二歩さがる」どこかで聞いたことのあるフレーズですが、この言葉には人生をたくましく生きるためのヒントが、二つ示されているような気がします。一つは二歩さがったとしても、確実に一歩すすんでいるように少しづつでも、コツコツと地道に歩むことが大切だということ。

もう一つは二歩さがるほどのつらくきびしい経験をおとして、人間はたくましく成長する機会を得るといことです。衣服を針と糸で縫うときも、一針ずつ戻りながら縫う「かえし縫い」の方が丈夫なものに仕上がるように、人生はすすんだと思えばときに戻ったりするくりかえしで、しだいに力強い歩みになっていくのではないのでしょうか。

川柳 (六首)

目覚ましの ベルはまだかと 起きて待つ三時間 待つて病名 「加齢です」
忘れ物 口で唱えて 取りに行き
久々の 化粧に 孫も たちすくむ
欲しかった 自由と時間 持て余す
お医者様 パソコン見ずに オレを診て
(作者不明)

編集後記

八月の例会はお休みです。危険な酷暑が毎日続いております。熱中症に注意下さい。涼しいみのり多い秋をむかえましょう。
お盆にはご先祖様に感謝し仏壇や墓地にお花を。九月には皆様と元氣にお会いしましょう。毎日の生活習慣を「たより」にお寄せ下さい。
TK